

1. 基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2	学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	1	生涯各期に応じた学習機会の提供		
施策の方向性	●生涯各期に応じた学習機会の充実を図るとともに、学習活動で得た成果をボランティア活動や地域の指導者として生かす仕組みづくりを目指します。 ●家庭教育を支援する学習プログラム講座を開催するスタッフ・リーダーの育成を行うとともに、公民館等を中心に学習・交流機会を提供します。 ●情報拠点としての図書館運営の充実に努め、住民の読書活動を支援するとともに、ボランティアの育成に継続して取り組みます。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	中期目標(H32)
1	生涯学習活動数	件	目標値		1,070	1,080	1,090	1,100	1,110
			実績値	1,053	1,278	1,414			
			達成状況		達成	達成			
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

生涯学習活動数は着実に伸びており、前年度に引き続き目標値を達成しました。一方で、公民館の利用者数や図書館の入館者数は減少傾向であり、課題となっています。

・評価及び対応方針

図書館では、入館者数が減少しており、その原因分析・対応が求められています。公民館は、学びの成果を地域へ還元するためのボランティアの更なる発掘・育成が必要です。

作成担当部長 教育部長 奥田 米穂

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値を達成しています。未達成の事務事業に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	公民館活動事業	1, 809
		2	図書館活動事業	14, 621
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財 政 計 画	1	社会教育一般事務事業	22, 669
		2	成人式事業	383
		3	青少年健全育成事業	3, 051
		4	放課後子ども教室推進事業	2, 235
		5	公民館管理運営事業	22, 370
		6	図書館管理運営事業	10, 741
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				77, 879

平成29年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	公民館活動事業	事業番号	221101
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	1 生涯各期に応じた学習機会の提供		

2. 事業概要

個人や地域の課題に応じた学習機会の提供や、地域との連携・協力の推進、また、ボランティア活動等の支援等を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 府中公民館及び府中南公民館において各種主催事業を実施します。	○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 ・乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（125回4,627人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（158回4,165人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（126回2,399人） ・高齢者を対象にした、学習会、生きがいづくり、地域社会への参画の機会の提供（243回3,530人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（11回8,092人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（436回1,363人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（139回2,964人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
①	利用者数(府中公民館)	人	目標値	19,400	19,500	19,600	19,700	19,800
			実績値	20,944	12,434			
			達成状況	達成	未達成			
②	利用者数(府中南公民館)	人	目標値	17,050	17,100	17,150	17,200	17,200
			実績値	22,664	16,750			
			達成状況	達成	未達成			
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		生涯学習各期に応じた学習・交流機会の提供が目的のため、利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,141	0	0	0	0	2,141
決算	1,809	0	0	0	0	1,809

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

両公民館とも利用者が前年度より減少しています。府中公民館において、例年11月に実施している公民館まつりを翌年度の4月に実施したこと、府中南公民館において、みなみフェスタの来場者が減少したことが、その主な要因となっています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

今後、いずれの公民館においても建替え等を進めていくこととなり、止むを得ない利用者数の減少が見込まれますが、できる限り活動が継続できるよう十分配慮していく必要があります。

作成担当課長

社会教育課長 山下 賢二

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

両公民館ともに、建替えまでの間、代替施設等を有効的に活用し、公民館活動が停滞することのないよう留意する必要があります。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

今後、いずれの公民館においても建替え等を進めていくこととなり、止むを得ない利用者数の減少が見込まれますが、できる限り活動が継続できるよう十分配慮していく必要があります。

作成担当部長

教育部長 奥田 米穂

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は60%を超えています。分析内容に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成29年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	図書館活動事業	事業番号	221102
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	1 生涯各期に応じた学習機会の提供		

2. 事業概要

住民の学習・読書意欲に応えられるよう利用度の高い資料の充実を図るとともに、子育てを応援する図書館として、特に子どもの読書活動を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 図書館利用講座、図書館まつり、ボランティア養成講座、おはなし会、子ども司書などを実施します。	○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,560冊購入しました。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（4回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・小学生を対象に図書司書を体験する「子ども司書」 ○ 読み聞かせ・本の修理等のボランティア養成講座を開催し、ボランティアを養成しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
①	図書館入館者数	人	目標値	261, 000	262, 000	263, 000	264, 000	265, 000
			実績値	256, 873	242, 627			
			達成状況	未達成	未達成			
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		情報発信拠点としての図書館運営の充実を目的としているため、図書館入館者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	14,938	0	0	0	62	14,876
決算	14,621	0	0	0	52	14,569

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 入館者数が減少し、目標に達しませんでした。開館10年が経過し、施設の新鮮味が薄くなってきたことや本離れが進んできていることなどが原因であると推測しています。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">事業効果</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">高</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">事業改善</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">低</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">今後の方向性</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 今後も利用者からの図書の予約・リクエストの把握に努め、ニーズを踏まえながら蔵書の鮮度を保つとともに、目標値の達成は難しいかもしれませんが、少なくとも入館者数の維持に努めます。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">作成担当課長</td> <td style="padding: 5px;">社会教育課長 山下 賢二</td> </tr> </table>						作成担当課長	社会教育課長 山下 賢二				
作成担当課長	社会教育課長 山下 賢二										

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 図書館では、年々入館者数が減少し、貸出数も併せて減少しています。その原因分析を進めていく必要があります。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">事業効果</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">高</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">事業改善</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">低</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">今後の方向性</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 今後も利用者からの図書の予約・リクエストの把握に努め、ニーズを踏まえながら蔵書の鮮度を保つとともに、目標値の達成は難しいかもしれませんが、少なくとも入館者数の維持に努めます。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">作成担当部長</td> <td style="padding: 5px;">教育部長 奥田 米穂</td> </tr> </table>						作成担当部長	教育部長 奥田 米穂				
作成担当部長	教育部長 奥田 米穂										

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なします。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。